

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。  
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。  
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。  
あらかじめご了承ください。

P  
USER'S GUIDE  
**1662**

- Shock resistant construction
- 20-Bar water resistance
- Low-temperature resistance(-20°C)
- EL backlighting/Auto EL backlighting
- 30 pages of Telememo
- Alarm/Hourly time signal
- Dual time
- 24 hours countdown timer
- 1/100sec. stopwatch

**CASIO**

N

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。未長くご愛用いただきために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。  
なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

## ⚠ 警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。  
※本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



## 電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

## ⚠ 注意

### お手入れについて

本体やバンドは吸湿性のよい柔らかい布でふいて、いつも清潔にしてご使用ください。汚れたままにしておくと、変色や破損、皮膚のかぶれの原因となることがあります。万一、本機使用により皮膚がかぶれたときは、そのバンドの使用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

ステンレス製のバンドの場合、汚れからサビが発生し、衣服の袖を汚すことがあります。

### 分解しないでください

本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。



### データ控えを作ってください

記録させた内容は、備忘録やノートに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残して下さい。本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。



### オートライト作動時のご使用について

登山やハイキングなどで、暗く足元の不安定な場所で、歩きながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。転倒やけがの原因となることがあります。

夜間、車両が通行する道路や路面の安全を確認できない走路などで、ランニングをしながら時計を見ることは危険ですのでやめください。交通事故、転倒の原因となることがあります。

夜間、自転車やバイクなどを運転しながら時計を見るることは危険ですのでおやめください。転倒、交通事故の原因となることがあります。

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですのでおやめください。交通事故の原因となることがあります。

# 操作のしくみと表示の見方

※機種によりデザイン上デジタル表示部に反転液晶を使用しているものもあります。

①ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。

## 時刻モード

### ★曜日の見方

SUN:日 MON:月 TUE:火 WED:水  
THU:木 FRI:金 SAT:土



### ＜グラフ表示＞



### ＜曜日表示＞

年  
月  
曜日  
ONマーク  
(表示切替)  
①ボタン  
午後マーク  
(午前は不点灯)  
②ボタン  
時 分 秒  
①ボタン(ライト点灯)

### ★表示切替

時刻モードで①ボタンを約1秒間押すごとに、ドット部の曜日とグラフ2の表示が切り替わります。なお、グラフ1・2は秒に連動して動きります。

### ★ELオートライトON/OFF切替

時刻モードで②ボタンを約1秒間押し続けます。この操作をするごとにオートライトON/OFFが切り替わります。なお、オートライトON(①点灯)に切り替えてから約2時間すると、自動的に“AUTO”が消え、オートライトOFFに戻ります。

## ■デモ機能について

本機には「デモ（デモンストレーション）機能\*」がついています。

(\*デモ機能中はモード切替等の操作はできません。)

\*「デモ機能」とは、時計の機能の一部を自動的に表示するものです。

●デモ機能の解除…①ボタンを約3秒間（確認音が鳴るまで）押し続けます。

●デモ機能の設定…解除するときと同じに①ボタンを約3秒間押し続けます。

## 時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻・カレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。なお、月に1度くらい「秒合わせ」をすると、時刻はいつも正確です。

### ●秒の合わせ方

(1)時刻モードのとき、

②ボタンを約1秒間押します

→「秒」が点滅します。



(2) 時報に合わせて、②ボタンを押します

→「00秒」からスタートします。



秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス電話117番」が便利です)

(3) ②ボタンを押します  
→点滅が止まり、セット完了です。

### ●時刻・カレンダーの合わせ方

(1)時刻モードのとき、

②ボタンを約1秒間押します

→「秒」が点滅します。

(2) ②ボタンを押します

→「秒→時→分→年→月→日→秒…」の順で点滅が動きますので設定したい箇所を②ボタンで選びます。



(3) ②または①ボタンを押します

→②ボタンを押すと点滅箇所の数字が進み、①ボタンを押すと戻ります。

※②・①ボタンとも押し続けると早送りします。

②ボタンで設定したい箇所を選び、②または①ボタンで数字を選択操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※表示が点滅しているときに②ボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示が切り替わります。

★「時」のセットのとき午前／午後(PM)または24時間制(24)にご注意ください。

★「年」は西暦で1995～2039年の範囲でセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。なおカレンダーは大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(4) セットが終わりましたら、②ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

## テレメモの使い方

①ボタンを押してテレメモモードにします。

テレメモは、名前8文字、電話番号12桁を最大30件まで記憶できます。また、データを入力すると、名前順に並び替え(自動ソート\*)が行なわれますので、データを探すときもたいへん便利です。

\*自動ソート…記憶されたデータは名前の先頭から比較し、自動的に整理されます。比較順序は(スペース)、アルファベット(A～Z)、数字(0～9)、-、/、:、( )の順です。

### ●テレメモモードにすると

テレメモモードに切り替えると、テレメモ残り件数を表示後、前回一番最後に見たテレメモを表示します。

### ●テレメモデータの呼び出し

テレメモモードのとき、

②または①ボタンを押します

→②ボタンを押すごとに名前順に進み、①ボタンを押すごとに逆方向に進めます。

※②・①ボタンとも押し続けると早送りします。

※名前を6文字以上入力したときは、文字が右から左に流れます(スクロール表示)となります。

### ●データを入力する

(1) 空ページ表示にする

①・②ボタンを同時に押します

→空ページ表示になります。

※データが30件分入力されているときは“FULL”と表示されます。このときは、不要なデータを消去してください。

(参照)

(2) ②ボタンを約1秒間押します

→名前部1桁目が点滅します。



(3) ②または①ボタンを押します

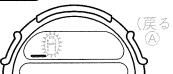
→②ボタンを押すと点滅箇所の文字・数字が進み、①ボタンを押すと戻ります。

※②・①ボタンとも押し続けると早送りします。

(4) ②ボタンを押します

→「名前部1桁目～8桁目～電話番号1桁目～12桁目～名前部1桁目…」の順で点滅が右に動きますので設定したい箇所を②ボタンで選びます。

※②・①ボタンとも押し続けると早く進みます。



②または①ボタンで文字・数字を選び、②ボタンで桁を選択操作を繰り返して、テレメモデータを入力します。

★入力できる文字は、名前部のときは(スペース)、アルファベット(A～Z)、数字(0～9)、-、/、:、( )で、電話番号部のときは-、数字(0～9)、(スペース)です。

(5) 電話番号入力後 ②ボタンを押します

→新規入力表示(名前部1桁目点滅)になりますので、続けて他のデータを入力できます。

(6) 全てのセットが終わりましたら、

もう一度②ボタンを押します

→自動ソートが行なわれ、テレメモモードに戻ります。

### ●データを修正する

(1) ②または①ボタンを押して修正したいデータを選びます。

(2) ②ボタンを約1秒間押します。

(3) ②ボタンで修正したい箇所に点滅を移動させ、②・①ボタンで正しい文字・数字を表示させます。

(4) 修正が終りましたら、②ボタンを押します。

→自動ソートが行なわれ、テレメモモードに戻ります。

※点滅表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

### ●データを消去する

(1) ②または①ボタンを押して消したいデータを選びます。

(2) ②ボタンを約1秒間押します。

(3) ②・①ボタンを同時に押します。

→“CLEAR”表示後、データが消去されます。

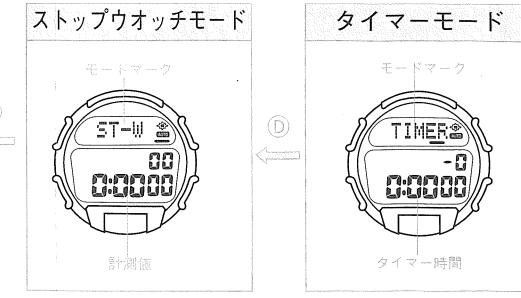
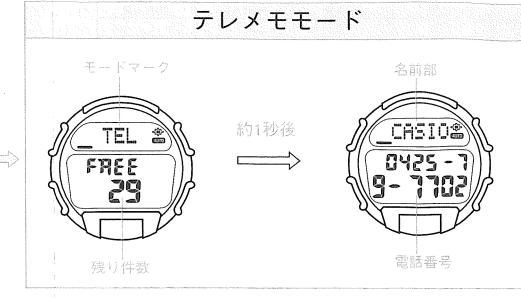
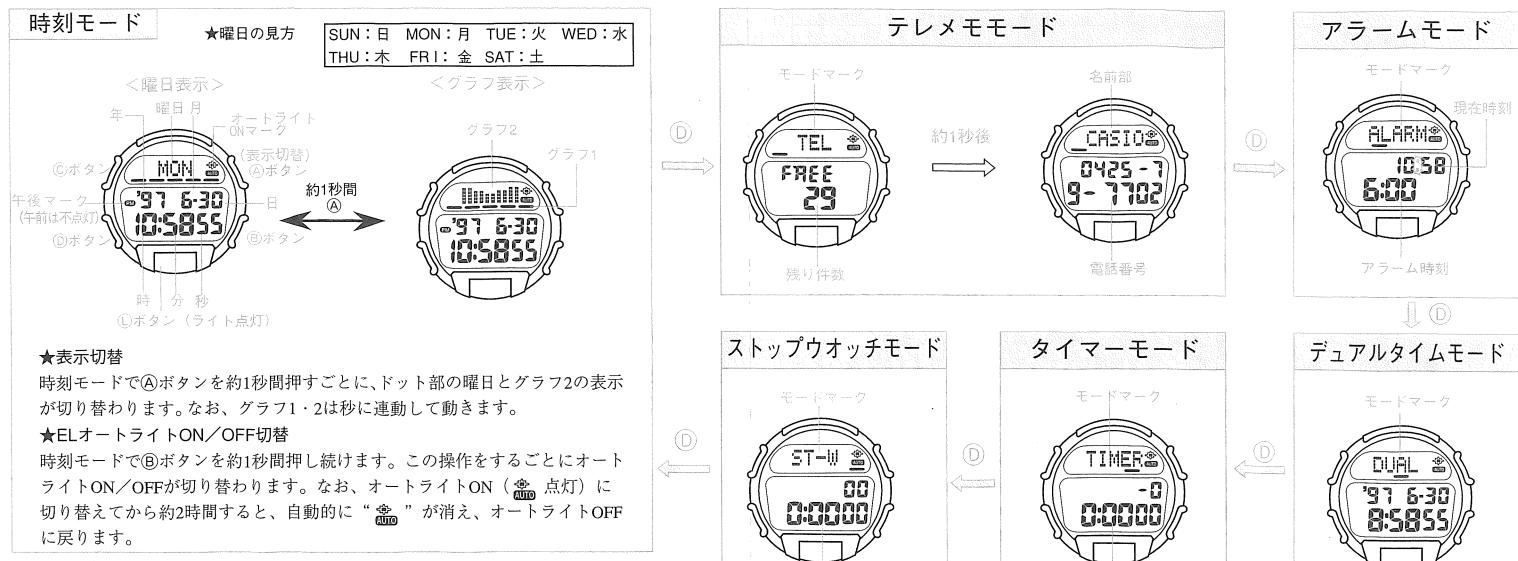
※データ消去後は、引き続きデータ入力ができます。

(4) 消去が終りましたら、②ボタンを押します。

→テレメモモードに戻ります。

※点滅表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

※テレメモモードで何もボタン操作をしないと、2～3分後自動的に時刻モードに戻ります。



## 時刻・カレンダーの合わせ方

①時刻モードのとき、  
②ボタンを約1秒間押します

→「秒」が点滅します。



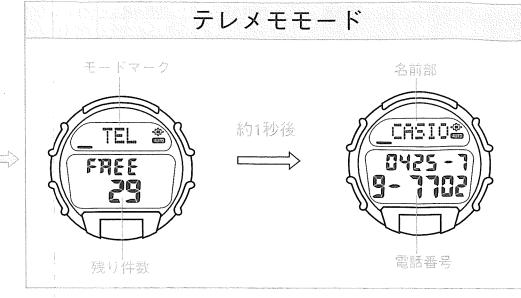
(2) 時報に合わせて、②ボタンを押します

→「00秒」からスタートします。



秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス電話117番」が便利です)

(3) ②ボタンを押します  
→点滅が止まり、セット完了です。



## テレメモの使い方

①ボタンを押してテレメモモードにします。

テレメモは、名前8文字、電話番号12桁を最大30件まで記憶できます。また、データを入力すると、名前順に並び替え(自動ソート\*)が行なわれますので、データを探すときもたいへん便利です。

\*自動ソート…記憶されたデータは名前の先頭から比較し、自動的に整理されます。比較順序は(スペース)、アルファベット(A～Z)、数字(0～9)、-、/、:、( )の順です。

### ●テレメモデータの呼び出し

テレメモモードのとき、

②または①ボタンを押します

→②ボタンを押すごとに名前順に進み、①ボタンを押すごとに逆方向に進めます。

※②・①ボタンとも押し続けると早送りします。

※名前を6文字以上入力したときは、文字が右から左に流れます(スクロール表示)となります。

### ●データを入力する

(1) 空ページ表示にする

①・②ボタンを同時に押します

→空ページ表示になります。

※データが30件分入力されているときは“FULL”と表示されます。このときは、不要なデータを消去してください。

(参照)

(2) ②ボタンを約1秒間押します

→名前部1桁目が点滅します。



(3) ②または①ボタンを押します

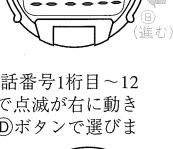
→②ボタンを押すと点滅箇所の文字・数字が進み、①ボタンを押すと戻ります。

※②・①ボタンとも押し続けると早送りします。

(4) ②ボタンを押します

→「名前部1桁目～8桁目～電話番号1桁目～12桁目～名前部1桁目…」の順で点滅が右に動きますので設定したい箇所を②ボタンで選びます。

※②・①ボタンとも押し続けると早く進みます。



②または①ボタンで文字・数字を選び、②ボタンで桁を選択操作を繰り返して、テレメモデータを入力します。

★入力できる文字は、名前部のときは(スペース)、アルファベット(A～Z)、数字(0～9)、-、/、:、( )で、電話番号部のときは-、数字(0～9)、(スペース)です。

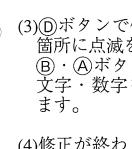
(5) 電話番号入力後 ②ボタンを押します

→新規入力表示(名前部1桁目点滅)になりますので、続けて他のデータを入力できます。

(6) 全てのセットが終わりましたら、

もう一度②ボタンを押します

→自動ソートが行なわれ、テレメモモードに戻ります。



②または①ボタンで文字・数字を選び、②ボタンで桁を選択操作を繰り返して、テレメモデータを入力します。

★入力できる文字は、名前部のときは(スペース)、アルファベット(A～Z)、数字(0～9)、-、/、:、( )で、電話番号部のときは-、数字(0～9)、(スペース)です。

(5) 電話番号入力後 ②ボタンを押します

→新規入力表示(名前部1桁目点滅)になりますので、続けて他のデータを入力できます。

(6) 全てのセットが終わりましたら、

もう一度②ボタンを押します

→自動ソートが行なわれ、テレメモモードに戻ります。

(4) 消去が終りましたら、②ボタンを押します。

→テレメモモードに戻ります。

※点滅表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

※テレメモモードで何もボタン操作をしないと、2～3分後自動的に時刻モードに戻ります。

## アラーム の使い方

①ボタンを押してアラームモードにします。

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音が鳴ります。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。  
※時刻モードでグラフ表示しているときは、アラームの報音に合わせてグラフが動きます。

### ●アラーム時刻のセット

- (1)アラームモードのとき、  
②ボタンを約1秒間押します
- 「時」が点滅します。  
※アラームONとなり、アラームマーク“ALM”が点灯します。

現在時刻

- (2)①ボタンを押します
- 「時→分→時…」の順で点滅が動きますので設定したい箇所を①ボタンで選びます。

(3)②または④ボタンを押します

→②ボタンを押すと点滅箇所の数字が進み、④ボタンを押すと戻ります。  
※②・④ボタンとも押し続けると早送りします。



(戻る)  
ALARM  
10:58  
00  
(戻す)  
②  
④  
(進む)

③②ボタンで設定したい箇所を選び、②または④ボタンで数字を選ぶ操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます。

★「時」のセットのとき午前／午後(PM)にご注意ください。  
★基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。

(4)セットが終わりましたら、③ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2~3分すると自動的に点滅が止まります。  
※アラームモードのままで何もボタン操作をしないと、2~3分後、自動的に時刻モードに戻ります。

### ●アラーム・時報のON/OFF設定

アラームモードのとき、②ボタンを押すごとにアラームマーク“ALM”と時報マーク“SIC”が点灯／消灯を繰り返します。  
※それぞれのマークが点灯しているときがONとなり、アラーム・時報が鳴ります。  
※アラーム時刻のセットを行なうと、自動的にアラームONに設定されます。



時報マーク  
アラームマーク  
ALARM  
10:58  
00  
SIC  
②  
④  
(進む)  
(戻す)

### ●モニターアラーム

アラームモードのときに①ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

### ●鳴っている電子音を止めるには

電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

## デュアルタイム の使い方

①ボタンを押してデュアルタイムモードにします。

デュアルタイムとは、現在時刻とは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできる機能です。

### ●デュアルタイムのセット

(1)デュアルタイムモードのとき、

- ②ボタンを約1秒間押します
- 「時」が点滅します。



(2)①ボタンを押します

→「時→分→年→月→日→時…」の順で点滅が動きますので設定したい箇所を①ボタンで選びます。



(3)②または④ボタンを押します

→②ボタンを押すと点滅箇所の数字が進み、④ボタンを押すと戻ります。  
※②・④ボタンとも押し続けると早送りします。



①ボタンで設定したい箇所を選び、②または④ボタンで数字を選ぶ操作を繰り返して、デュアルタイム時刻を合わせます。

★「時」のセットのとき午前／午後(PM)にご注意ください。

★基本時刻を24時間制にしているときは、デュアルタイム時刻も自動的に24時間制表示となります。

★デュアルタイム時刻の「秒」は、基本時刻の「秒」に連動して表示されます。

(4)セットが終わりましたら、③ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2~3分すると自動的に点滅が止まります。

## タイマー の使い方

①ボタンを押してタイマーモードにします。

タイマーは1秒単位で最大24時間までセットでき、1/10秒単位で減算計測を行ないます。セットした時間を経過すると10秒間の電子音でタイマーアップを知らせます。

※時刻モードでグラフ表示しているときは、タイマーアップの報音に合わせてグラフが動きます。

### ●タイマー時間の設定

(1)タイマーモードのとき、

- ②ボタンを約1秒間押します
- 「時」が点滅します。



(3)②または④ボタンを押します

→②ボタンを押すと点滅箇所の数字が進み、④ボタンを押すと戻ります。  
※②・④ボタンとも押し続けると早送りします。



③②ボタンで設定したい箇所を選び、②または④ボタンで数字を選ぶ操作を繰り返して、タイマー時間を設定します。

★タイマー時間を24時間に設定するときは、表示を“0:00 00”にします。

(4)セットが終わりましたら、③ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2~3分すると自動的に点滅が止まります。

### ●タイマーの使い方（減算計測のしかた）

タイマーモードのとき、

②ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします



→減算計測は1/10秒単位で行ないます。

★①ボタンを押すと計測前の表示に戻ります。

★ロスタイムがあるときは…  
減算計測中、②ボタンでストップ後、もう一度②ボタンを押すと、表示タイムに引き続き計測を始めます。

### ●鳴っている電子音を止めるには

電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

## ストップウォッチ の使い方

①ボタンを押してストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測できます。計測時間がこの計測範囲を超えると、以後自動的に0に戻って計測を続けます。

### ●計測のしかた

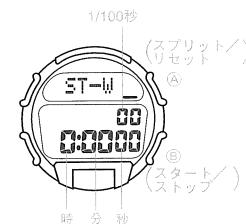
ストップウォッチモードのとき、

- ②ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします

\*計測中に①ボタンを押すと表示が止まり\*、スプリットタイムを表示します。もう一度①ボタンを押すとスプリットが解除されます。

\*スプリットタイム表示中でも内部では計測を続けています。

\*計測中に②ボタンを押すと、計測が止まります。このときもう一度②ボタンを押すとその時点から計測を再開します。(積算計測)



### ●通常計測

②スタート → ②ストップ → ①リセット

### ●スプリットタイム計測(途中経過時間計測)

②スタート → ①スプリット → ②スプリット解除 → ②ストップ → ①リセット



### ●1・2着同時計測

②スタート → ①1着ゴール → ②2着ゴール → ①2着タイム表示 → ①リセット

## 表示照明用ELバックライトについて

本機の表示部にはELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けるだけで文字板が発光するオートライト機能もあります。

### ●ボタンを押して発光させる～手動発光～

①ボタンを押します

→どのモード（表示）のときでも、文字板にあるELパネルが約2秒間発光します。



※ELパネル発光中に①ボタンを押すと、その時点から引き続き約2秒間発光します。ただし、①ボタンを20秒間押し続けるとその時点で発光が消えます。

※オートライトOFF（“AUTO”不点灯）のときも①ボタンを押すと発光します。

### ●時計を傾けて発光させる～自動発光（オートライト）～

オートライトは、ボタンを押さなくても文字板が発光する便利な機能です。暗い場所で時刻やストップウォッチの計測値などを見るとときに大変便利です。

【準備】時計モードのときに②ボタンを約

1秒間押して、“AUTO”を点灯させて「オートライトON」にします。

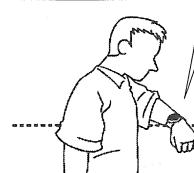
※もう一度②ボタンを約1秒間押すと“AUTO”が消え、「オートライトOFF」になります。

オートライトON  
マーク

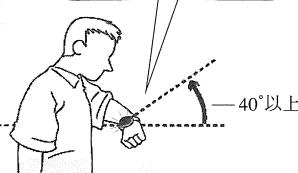


↓  
【文字板を発光させる】

① 時計を腕にはめ、水平にします

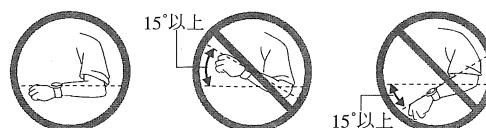


② 水平状態から、表示が見えるように約40°傾けます



※オートライト機能を使用するときは、時計が「手首の外側」にくるようつけてください。

※このとき、文字板の左右（3時～9時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。



### <オートライトご使用時の注意>

●オートライトが作動するのは、“AUTO”を点灯させてから約2時間です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的に“AUTO”が消え、オートライトOFFになります。  
※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度②ボタンを約1秒間押して、“AUTO”を点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。

●時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがありますがあまり異常ではありません。

●文字板発光後、時計を傾けたままにしておいても、発光は約2秒間のみとなります。

●時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。オートライトを使用しないときはOFFにしておいてください。

※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。

●静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下から振りあげてみると、発光しやすくなります。

### <EL発光についての注意事項>

●直射日光下では、発光が見えにくくなります。

●発光中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。

●発光中に時計本体より音が聞こえることがあります。これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

